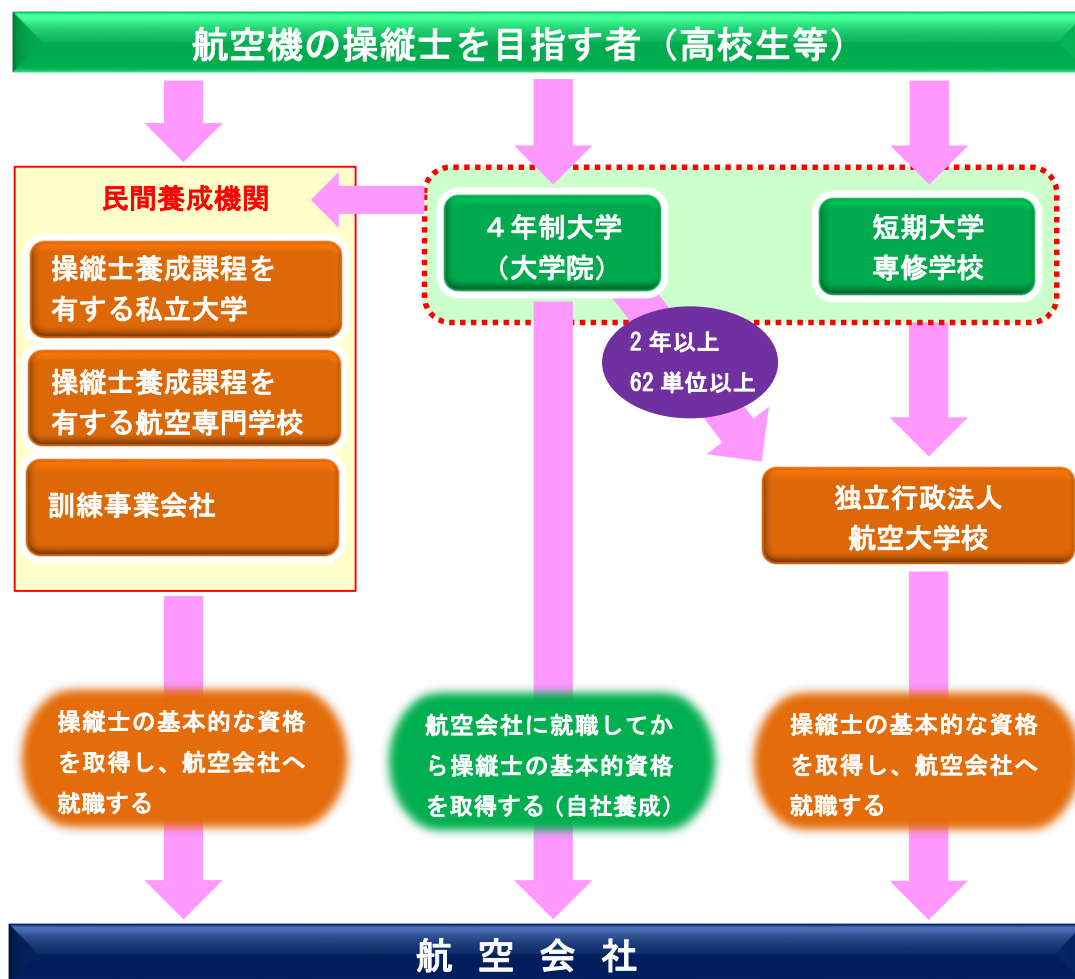


【V. 操縦士・整備士に関する養成機関について】

1. 操縦士の養成機関について

現在、日本でエアラインパイロットになるためには、民間養成機関（一部の私立大学、航空専門学校及び訓練事業会社）又は独立行政法人航空大学校において資格等を取得後航空会社に入社するか、一般の大学等を卒業後、定期航空会社にパイロット要員として入社後に資格を取得する（自社養成）等の方法があります。



養成機関については、以下一覧をご参照ください。

(※航空機操縦士養成連絡協議会へ参加する養成機関のみ掲載しております。)

なお、航空大学校は、1954年に設立された日本で唯一の国立パイロット養成機関（現在は独立行政法人）であり、宮崎（九州）・帯広（北海道）・仙台（宮城）の3地域において、2年間の教育課程を実施し、航空機の操縦に関する学科及び技能を教授し、航空機の操縦に従事する者を養成しています。

<<養成機関一覧>> (順不同)

平成 27 年 4 月現在

航空機の種類	名 称	在学期間	取得できる資格等
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人東海大学</p>	4 年	<ul style="list-style-type: none"> ◆FAA 自家用操縦士 ◆FAA 事業用操縦士 ◆FAA 計器飛行証明 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明 ◆学士
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人法政大学</p>	4 年	<ul style="list-style-type: none"> ◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明 ◆学士
飛行機	<p>学校法人桜美林学園 桜美林大学</p>	4 年	<ul style="list-style-type: none"> ◆FAA 自家用操縦士 ◆FAA 事業用操縦士 ◆FAA 計器飛行証明 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明 ◆学士
飛行機	<p>学校法人君が淵学園 崇城大学</p>	4 年	<ul style="list-style-type: none"> ◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明 ◆学士
飛行機	<p>学校法人都築教育学園 第一工業大学</p>	4 年	<ul style="list-style-type: none"> ◆FAA 自家用操縦士 ◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明 ◆学士
飛行機	<p>学校法人日本航空学園 日本航空大学校</p>	2 年 / 4 年	<ul style="list-style-type: none"> ◆FAA 自家用操縦士 ◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明

航空機の種類	名 称	在学期間	取得できる資格等
飛行機 / 回転翼航空機	学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校	2年	◆FAA 自家用操縦士 ◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆（計器飛行証明）
飛行機	学校法人浅野学園 国際航空専門学校	2年	◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士
飛行機	本田航空株式会社	約 18 ヶ月	◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明
飛行機	朝日航空株式会社	約 21 ヶ月	◆FAA 自家用操縦士 ◆FAA 事業用操縦士 ◆FAA 計器飛行証明 ◆事業用操縦士 ◆（計器飛行証明）
回転翼航空機	学校法人帝京大学	4年	◆自家用操縦士 ◆事業用操縦士 ◆学士
飛行機	〈国が設立した唯一の養成機関〉 独立行政法人航空大学校	2年	◆事業用操縦士 ◆計器飛行証明

※1 「取得できる資格等」欄に諸外国のライセンスがあるのは、日本国内で操縦訓練を行う前に、当該国において各ライセンスを取得するものです。

※2 「FAA」はアメリカのライセンスです。

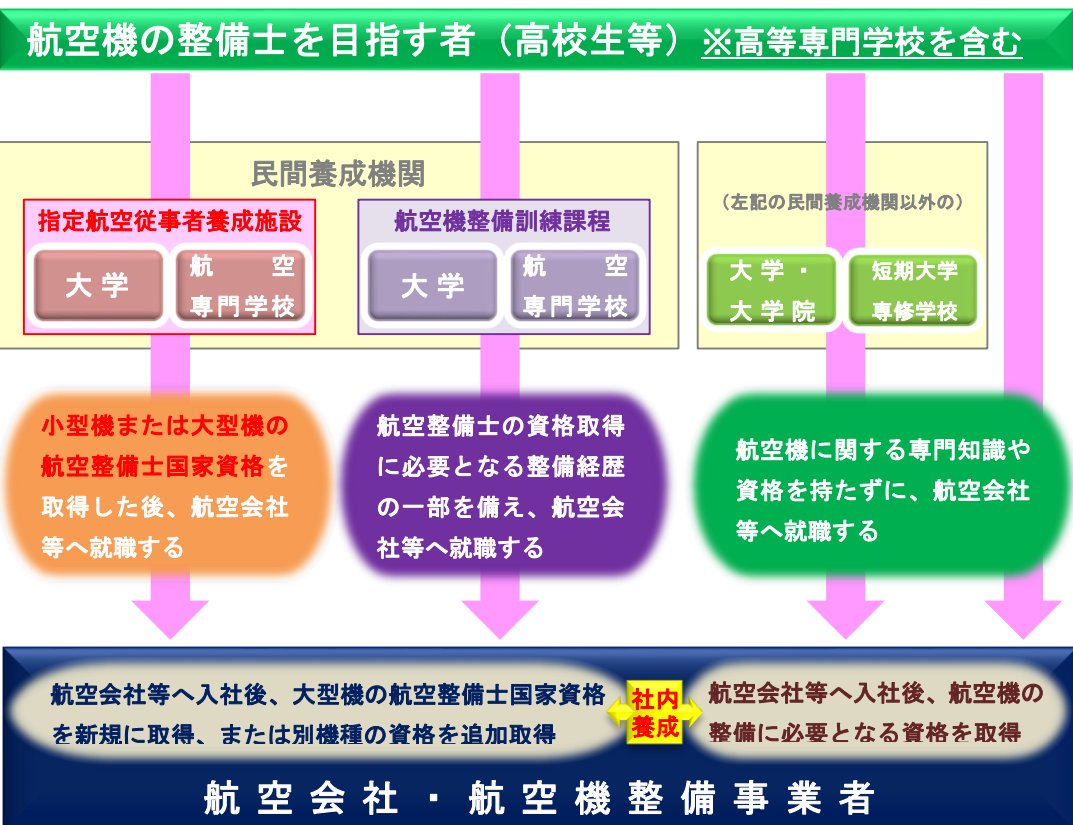
2. 整備士の養成機関について

整備士になるには、航空専門学校等で資格等を取得後航空会社等に入社する方法と、一般の大学や高校等を卒業し、航空会社等へ入社後に資格を取得する方法があります。

航空専門学校等では、主に小型機を対象とする二等航空整備士又は二等航空運航整備士に必要な教育を2～3年を架けて、「航空機はなぜ飛ぶのか」という理論から始まり、構造や各種装置の仕組み、ボルト類の適切な締め方等の基本作業、発電機・エンジンなど装備品の交換、試運転による性能確認、故障箇所の修理方法など、様々な教育科目を、座学と実物の小型航空機を使用した実習で学びます。

また、一部の学校においては、大型機の保守及び軽微な修理に係る一等航空運航整備士の資格取得を目指す教育も行われています。

国土交通大臣が指定する教育施設には2種類あり、教育終了後に行われる技能審査に合格すると航空局試験官が実施する実地試験の免除が受けられる「指定航空従事者養成施設」と、教育を修了すると資格要件の一つである整備経歴の一部が認められる「航空機整備訓練課程」があります。



詳しくは、以下の養成機関一覧をご参照ください。

(※航空機整備士・製造技術者養成連絡協議会へ参加する養成機関のみを掲載しております。)

<<養成機関一覧>> (順不同)

平成 27 年 4 月現在

航空機の種類	名 称	在学期間	取得できる資格等
飛行機 / 回転翼航空機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人神野学園 中日本航空専門学校</p>	3 年	<p>◆L1 BOEING767 ◆T2 飛行機 ◆T2 回転翼 ◆L2 飛行機</p>
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人日本航空学園 日本航空専門学校</p>	3 年	<p>◆L1 BOEING767 ◆T2 飛行機 ◆L2 飛行機</p>
飛行機 / 回転翼航空機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人浅野学園 国際航空専門学校</p>	3 年	<p>◆L1 BOEING767 ◆T2 飛行機 ◆T2 回転翼 ◆L2 飛行機</p>
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人日本航空学園 日本航空大学校</p>	3 年	◆L1 YS-11
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人日本コックピット学園 東日本航空専門学校</p>	3 年	◆L2 飛行機
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構千葉支部 関東職業能力開発大学校附属 千葉職業能力開発短期大学校</p>	2 年	◆L2 飛行機
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人君が淵学園 崇城大学</p>	4 年	<p>◆T2 飛行機 ◆学士</p>
飛行機	<p><指定航空従事者養成施設> 学校法人ヒラタ学園 大阪航空専門学校</p>	2 年	◆L2 飛行機

航空機の種類	名 称	在学期間	取得できる資格等
飛行機	<p>〈航空機整備訓練課程〉</p> <p>学校法人筑波研究学園 成田つくば航空専門学校</p>	2年 + 1年	※資格を取得するために必要となる経歴の一部が付与され、航空従事者技能証明試験に合格することで資格を取得できる
飛行機	<p>〈航空機整備訓練課程〉</p> <p>学校法人都築教育学園 第一工業大学</p>	4年	<p>◆学士</p> <p>※資格を取得するために必要となる経歴の一部が付与され、航空従事者技能証明試験に合格することで資格を取得できる</p>

※ 「取得できるライセンス」欄の表記は、次のライセンスを表しています。

T1 : 一等航空整備士 L1 : 一等航空運航整備士
T2 : 二等航空整備士 L2 : 二等航空運航整備士